平成 30 年度 社会福祉法人釧路愛育協会 事業計画

1. 経営理念と方針

• 経営理念(長期ビジョン)

- (1) その人らしい尊厳のある暮らしの実現をめざす。
- (2) 心身ともに健やかに育成される保育、教育、養護、介護、支援の充実をめざす。
- (3) 専門的な技術と知識により、質の高いサービスの提供をめざす。
- (4) 安心、安全、快適な施設・設備の充実をめざす。
- (5) 地域社会に対する公益的な事業の促進をめざす。

· 方 針

- (1) 基本的人権と個人としての尊厳と誇りを尊重し、その人らしい充実した 生活が送れる支援に努める。
- (2) 利用者及び保護者、並びに地域の方々から、信頼が得られる経営・運営 に努める。
- (3) 経営・運営における透明性の確保に努める。
- (4) 職員は、保育、教育、養護、介護、支援を実現するため、相互に研鑽を深め、よりよい個別支援計画を研究し実践に努める。
- (5) 利用者の要望や意見が施設利用に反映されるための苦情解決システムを 構築し、苦情申立については誠意をもって迅速且つ適切に解決を図るよ う努める。
- (6) 施設は集団生活を基本としているが、集団生活であるという理由でプライバシーの侵害が行われないよう、利用者の基本的プライバシー保護を 確保するよう努める。

2. 法人中期計画(5ヵ年計画 H29年度~H33年度)

「経営理念(長期ビジョン)」、単年度の「法人重点項目」のほかに、法人の事業継続及び発展を目的に「将来あるべき姿」を明確にし、計画的にその実現を目指していくための中間計画として「法人中期計画」を策定する。

- (1) 尊厳のある暮らしの実現ため、「自立支援の有り方指針」を策定する
- (2) 保育、教育、養護、介護、支援の充実のため、「個別的な保育・介護・支援の実践」を推し進める
- (3) 職員の専門的な技術・知識の習得並びに人材育成・定着のため、「法人研修体制」を構築する
- (4) 安心、安全、快適な施設設備の充実のため、「養護老人ホーム長生園、愛光 保育園の改築」を実施する
- (5) 地域社会に貢献するため、「地域公益事業」及び「福祉総合相談所(仮称) 開設」を実施する

3. 運営方針

社会福祉法人制度改革により、社会から信頼される社会福祉法人のあり方を構築するため、「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組みを実施する責務」を大きな柱として、適切な経営・運営の強化促進等を進めてきた。

今年度においても、法人経営理念・方針の実現に向け、経営理念を長期ビジョンとした法人中期計画に基づき、持続可能な安定した事業経営のための方策、並びに法人が目指すものの実現のための事業革新、法令制度に則った適正な事業運営を継承していくビジョンの実現に向け、将来あるべき法人の姿の具現化に取組んでいく。

今年度の重点項目としては、老朽化した施設の改築整備に向けた具体的な計画策定や、将来に向けた人材育成・定着のための法人内研修体制の構築、法改正

等に伴う法人組織・職員区分等の見直しを主眼に、職員給与待遇の改善、さらに は各種制度で提供されるサービス以外の地域ニーズに応える支援を、第2種社 会福祉事業として開設し、地域公益活動の促進に積極的に取組んで行く。

釧路愛育協会は、乳児、児童、障がいをもつ方、高齢の方々へこれまでの施設福祉サービスの実績を基盤としながら、質の高い保育、介護、支援等の福祉サービスの積極的な展開を進めてきた。しかし、社会の変化に伴い、社会福祉法人に求められる姿勢も変化してきており、我々の先達から脈々と続いていた社会福祉事業実践や理念を軸にしながらも、近年の社会福祉法人制度改革への対応や、地域共生社会の実現に向けた取組み等、地域社会から求められていることに対して、スピード感を持って的確に活動を展開していかなければならない。

4. 法人重点項目

(1) 法人施設整備計画の策定

- ・釧路市の協力の下、長生園の老朽改築に向けた、具体的な施設整備計画を 策定する。
- ・愛光保育園の改築に向けた施設整備計画を検討していく。

(2) 法人人材育成研修体制の構築と研修計画の実施

・将来の法人幹部職員育成、職員及び新任職員育成を目的とした、法人研修 委員会による研修計画を構築する。

(3) 法人組織・職員区分等法人内制度改革の実施

- ・労働契約法改正に伴う、新たな職員体系(有期契約雇用から無期契約雇用 化)を構築する。
- ・施設の組織機構及び職、職務、機構等の整備を図る。

(4) 職員に対する給与待遇等処遇改善の実施

・職員給与体系(初任給等)の一部見直し及び福利厚生等の待遇改善を図る。

(5) 地域公益活動の促進

・北海道社会福祉協議会並びに釧路市社会福祉協議会との協働による福祉サービス利用援助事業の社会貢献モデル事業から、第2種社会福祉事業へ転換を進め、地域生活支援としての包括的権利擁護体制の構築(成年後見制度と

日常生活自立支援事業の新たな仕組みづくり)を進める。

・地域貢献のための、障害相談支援室鶴が丘を中心とした「福祉総合相談所 (仮称)」の開設を検討する。

5. 法人業務計画

		定時評議	定時評議員会		
				第1回	平成 30 年 6 月 14 日 (木) 平成 29 年度事業
					報告、決算の認定、その他の案件
				第2回	平成 30 年 9 月 27 日 (木) 平成 30 年度補
(1)	評	議員	会		正予算及びその他の案件
				第3回	平成 30 年 12 月 20 日(木) 平成 30 年度補
					正予算及びその他の案件
				第4回	平成 31 年 3 月 22 日 (金) 平成 31 年度事
					業計画および予算並びにその他の案件
				定時理事	会
				第1回	平成 30 年 5 月 30 日 (水) 平成 29 年度事業
					報告、決算の認定、その他の案件
				第2回	平成 30 年 9 月 19 日 (水) 平成 30 年度補
(2)	理	事	会		正予算及びその他の案件
				第3回	平成 30 年 12 月 12 日 (水) 平成 30 年度補
					正予算及びその他の案件
				第4回	平成 31 年 3 月 13 日 (水) 平成 31 年度事
					業計画および予算並びにその他の案件
				定例監查	<u> </u>
				第1回	平成 30 年 5 月 28 日 (月) 平成 29 年度決
					算及び運営の執行状況
				第2回	平成 30 年 7 月 23 日 (月) 平成 30 年度第 1
					四半期会計及び運営の執行状況
(3)	監		查	第3回	平成 30 年 10 月 22 日 (月) 平成 30 年度第
					2 四半期会計及び運営の執行状況
				第4回	平成 31 年 1 月 21 日 (月) 平成 30 年度第 3
					四半期会計及び運営の執行状況
				第5回	平成 31 年 3 月 25 日 (月) 平成 30 年度第 4
					四半期会計及び運営の執行状況

						第1回 平成30年5月21日(月) 平成29年度事
						業報告、決算の認定、その他の案件
				員会		第2回 平成30年9月10日(月) 平成30年度補
(4)	総	務	委		会	正予算及びその他の案件
(4)	小心	155	女	只	五	第 3 回 平成 30 年 12 月 3 日 (月) 平成 30 年度補
						正予算及びその他の案件
						第4回 平成31年3月4日(月) 平成31年度事業
						計画および予算並びにその他の案件
(5)	(5) 永年勤続職員表彰			昌 表	彩	表彰式 平成 30 年 12 月開催
(0)	/10	1 231	//YL 164	A 20	+>	勤続 10 年 勤続 20 年 勤続 30 年
(6)	役	員	研	修	会	北海道社会福祉協議会等の機関が運営する役員対象の
(0)						研修会への参加
						研修テーマ
						「一人ひとりの愛を育み、幸せな福祉を未来へ
						~愛育協会が持つ真心の継承~」
					第1回 新任職員研修会 平成30年6月19日(火)	
						「釧路愛育協会の歴史・諸規程の解説」
(7)	職	員	研	修	会	
						「チーム力と仲間との連携・施設長講話」
					第 3 回 職員研修会 平成 30 年 11 月 20 日 (火)	
					「職場におけるコミュニケーションスキル・施設長講話」	
						第 4 回 専門研修会 平成 30 年 10 月 23 日 (火)
						「感染症対策専門研修」

6. 長生園事業計画書

(1) 運 営 方 針

養護老人ホームは、老人福祉法の理念の基、地域においてひとりで生活する事が困難になった方や生活自体に困っている方、誰かの支えがあれば生活していけるのに、そういった方がいない方など、環境上、経済上の福祉課題を抱えた方々への生活支援とソーシャルワークを長年実践してきた。そして、今日では、養護老人ホームの機能はこれまで実践してきたことに止まらず、様々な困難に

より社会的に困窮している高齢者に対する支援機能の多角的展開が求められている。

特定要援護高齢者(精神疾患を持つ方や矯正施設を退所する方など)は、地域において当たり前の日常を営むことが困難な課題を抱えてしまっている場合が多く、そのような方のために養護老人ホームが持つ伴走型の支援機能やソーシャルワーク機能を発揮していかなければならない。

そのようなことから、養護老人ホームとして広義な意味でラストセーフティーネットとしての役割を担っていくため、地域包括ケアシステムやその他の制度や取り組みと連動し、養護の必要な方の早期発見・支援の実施、各関係機関との調整・協働を推し進めていくことを活動方針として実践していきたい。

施設を利用されている方に対する日常生活の中での活動としては、クラブ活動や余暇活動を保有能力に応じて内容を工夫し促進して行き、相談援助では、利用者さん個々の思いに寄り添い、その方にとっての最善の方法を一緒に探していく。医療面では、多職種が連携し健康維持に努め、栄養面では、望ましい食習慣を身につけるための知識の普及を促進していく。また、老朽化している施設の改築を長生園改築計画基本構想に基づき進め、安心・安全な生活環境を整えることも目標として掲げて行かなければならない。

これらを実現するため、法人の経営理念に則り、私たち福祉施設専門職は、更に専門的な知識や技術の向上を目的とした研鑽を続け、様々な視点から入所されている方々の生活を支えていく能力を高めていくことにも努めていきたい。

そしてこれらの実践により、入所されている方々の生活がより充実したものになるよう努めていき、さらには、養護老人ホームとして当施設がこの地域の社会福祉の拠点として有効に機能して行くことを目指して行く。

(2) 重点項目

- ① 内容を工夫した余暇活動の実施
- ② それぞれの利用者の声を傾聴し、その思いに寄り添い、その利用者にとっての最善の利益を共に探す
- ③ 多職種で連携、情報共有し、利用者の健康維持に努める
- ④ 適切な食事の提供と望ましい食習慣を身につけるために必要な知識の 普及に努める
- ⑤ 福祉施設専門職として知識・技術の向上のため各種研修の促進を図る
- ⑥ 長生園改築計画基本構想に基づき準備を進める

(3) 業務計画

1) 内容を工夫した余暇活動 の実施	・クラブ活動において、一般利用者と特定利用者が、それ ぞれに活動できる内容を考案し、身体機能の維持・向上 ができるよう実施する。・余暇活動として、四季折々のイベントを考案し、実施す るとともに、利用者の役割を見出せるような活動の場
(7) 天旭 	
	を提供する。
	・多くの利用者が交流し、コミュニケーションにより笑顔
	になれるような活動の場を提供する。
2) それぞれの利用者の声を	・中立的な立場で相談援助と支援の実践。
傾聴し、その思いに寄り	・個別性や自己決定の尊重、受容的態度、個人情報の保護
添い、その利用者にとっ	などの専門職としての倫理に基づき、利用者の最善の
ての最善の利益を共に	利益を共に探していく。
探す	・ご家族、多職種、関係機関との連携促進に努める。
3) 多職種で連携、情報共有し、利用者の健康維持に努める	・多職種との情報交換により、利用者の疾病の早期発見に努める。・感染症への予防の啓発、及び発生者を最小限に食い止めるため多職種で協力し拡大防止に努める。

	4)適切な食事の提供と望ましい食習慣を身につけるために必要な知識の普及に努める 5)福祉施設専門職として知識・技術の向上のため各種研修の促進を図る			っけ 哉の て知	・適切な栄養管理と衛生管理に努める。 ・他職種と協力し、行事食の充実や変化のある食事の提供に取り組む。 ・利用者の嗜好、意向の把握に努め、食事内容に反映させる。 ・栄養や衛生に関する情報の提供に努める。 ・各機関が実施する研修への参加促進を図る。 ・充実した施設内研修を継続していく。	
6)		園改築計 づき準備			改築準備委員会が中心となり、長生園改築計画基本構想 に基づき、法人と連携しながら改築準備を進めて行く。	
7)	ク	ラフ	ブ 活	動	楽々工房月2回リズムサークル月1回ゲートボールクラブ週1回(5月~10月)	
8)	健	康	教	室	第1回 平成30年 6月 第2回 平成30年 8月 第3回 平成30年10月 第4回 平成31年 2月	
9)	栄	養 指	導 教	室	第1回 平成30年 5月 第2回 平成30年 9月 第3回 平成30年12月 第4回 平成31年 3月	
10)	機	能言	川 練	等	体 操 毎 日 ハッピーレク 月1回	
11)	余	暇	活	動	外出支援月1回程度カラオケ月2回程度	
12)	自	己	評	価	福祉サービス第三者評価 高齢者福祉サービス版自己評価シートに基づき実施	
13)	職	員	研	修	価シートに基づき実施 北海道社会福祉協議会主催研修会 ・新任相談員研修 ・新任介護職員研修 ・福祉専門職キャリアアップ研修(中堅・リーダー・管理職) ・養護老人ホーム勉強会 釧根老人福祉施設協議会主催研修会 ・総合研修 I ・道東三地区施設長研修 ・施設長研修 ・施設長研修 ・個別研修①②	

北海道老人福祉施設協議会

・全道老人福祉施設研究大会
全国老人福祉施設協議会

・全国老人福祉施設研究会議

施設内研修(年11回)
研修企画運営担当

・総務課
・生活相談課
・養護課
・医務課
・給食課
・虐待防止研修会
・災害対策委員会・事故対策委員会
・感染症対策委員会
・研修委員会
・苦情処理委員会

(4) 行事計画

月	行事	月	行 事
4	座談会・誕生会・映画会・展示販売・ クッキングレク	1 0	座談会・健康教室・誕生会・開園記 念日・収穫祭・展示販売・茶話会・ 野外レク・大掃除週間・買い物レク
5	座談会・栄養教室・誕生会・節句会・ 映画会・花見・園内お花見・園内夜 桜お七の会・大相撲星取り・花壇整 備・外出レク	1 1	座談会・誕生会・演芸会・大相撲星 取り・クッキングレク
6	座談会・健康教室・誕生会・映画会・ 展示販売・野外レク・外出レク・園 長居室訪問・大掃除週間・外まわり 清掃	1 2	座談会・栄養教室・誕生会・クリス マス会・大掃除・お年取り・展示販 売・大相撲年間集計・茶話会・園長 居室訪問
7	座談会・誕生会・保育園とのレク交 流・健康診断・大相撲星取り・野外 食・外まわり清掃	1	新年恒例会・園長年始挨拶居室訪問・座談会・誕生会・映画会・大相 撲星取り・カルタ取り・かしわ保育 園お楽しみ会・ビデオ上映会
8	座談会・健康教室・誕生会・七夕・ 物故者供養・盆踊り・展示販売・野 外食・外まわり清掃	2	座談会・健康教室・誕生会・節分・ 映画会・展示販売・クッキングレク
9	座談会・栄養教室・誕生会・長生園 祭・大相撲星取り・野外レク・外ま わり清掃	3	座談会・栄養教室・誕生会・節句会・ 映画会・大相撲星取り・カラオケ交 流会・

7. 長生園訪問介護事業所事業計画

(1) 運 営 方 針

利用者の心身の状況及び特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常 生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事等の介護等を実施し、挨拶、 言葉使いに配慮し、コミュニケーションを通し精神的支援にも努めたい。 また、訪問介護員としての専門的知識・技術の習得を目的とした研修を通し、 自己研鑽に努めたい。

(2) 重 点 項 目

- ① チームアプローチの強化
- ② 訪問介護員の意識や技術を成長させることを目的とした研修の参加・実施

(3)業務計画

	利用者に対して、多職種が連携して様々な角度から支援す
1) チームアプローチの強化	ることができるよう、関連する専門職が相互の専門性を理
	解し、それぞれの業務範囲を尊重しながら情報の共有をす
	ることで、効果的な支援ができるよう努める。
2) 訪問介護員の意識や技術	・施設内外での研修に参加し、あらゆる介護場面に共通す
を成長させることを目的	る基礎的な介護の知識・技術を習得する。
とした研修の参加・実施	・長生園施設内研修への参加を促進する

(4) 研修計画

月	施設内研修内容
4月	ヘルパーとしての心がまえ・不適切ケアについて
7月	キネステティクス介助法
10 月	認知症について
3月	一年間の振り返り

8. デイサービス武佐いこい事業計画

(1) 運 営 方 針

前年度に、介護予防事業も従来の居宅サービスから市の管轄の介護予防・ 日常生活支援総合事業にみなし指定により移行となり、重ねて釧路町の管轄 の介護予防・日常生活支援総合事業の申請も行った。地域密着型通所介護事 業と共に更なる釧路市及び釧路町、管轄の地域包括支援センターや町内会、 老人クラブ、民生委員等地域との関わりをより密接なものにし、事業体制を 確立していきたい。

また、昨年度は、利用者の入院や年度下旬に実績への影響もあり、長生園の利用者の増員や在宅の利用者の利用回数増加や新規契約も数件有るも、定員に達している曜日が無い利用状況となっている。

新年度も営業活動を強化し、在宅の利用者の増員を図る。また、居宅介護支援事業所の介護支援専門員とのより密接な関係作りを図り新規利用者の増員に繋げていきたい。また、長生園の休みの利用者の振替利用等も積極的に組み込んで利用状況を向上させていきたい。

又、各介護支援専門員との連携のもと、利用者及び家族のニーズに対応した 通所介護計画を作成し、それを基に利用者個々が、その人らしい生活を営む ことができるよう支援していきたい。

サービス内容については、利用者主体を念頭に小規模事業所の少人数という特色を活かし個々の利用者に寄り添う生活機能の維持向上に重点をおいたサービスを提供し日常生活内での役割、自信、意欲、楽しみの回復を図り家庭内及び社会的孤立や家族の介護負担の軽減、解消に努めたい。

昨年度も、職員の入れ替わりが続いたため、新人教育を目的とした研修や

専門職としての資質向上を目的とした研修を定期的に行い、外部研修へも積極的に参加していき、地域の多様なニーズに対して柔軟に対応できるようなチームケアの確立に努めたい。

地域公益事業については、デイサービスフロア地域一般開放も定期利用の 申し込みが2件有り、毎週午前中のスケジュールは埋まっている状態である。 新たな地域公益事業として、地域交流カフェの「いこい会館」も5月より 2ヶ月に1回第3土曜日に開催しており、デイサービスフロア地域一般開放 の利用者の方達(地域住民)も誘い合って頂き、徐々に参加者も増えている ので、新年度は、もっと地域に認知して頂けるよう宣伝活動に努めていきた い。

今年度も、社会福祉協議会の釧路市ボランティアセンターより「ご近所ボランティア」を各曜日に受け入れていたが、曜日が重複して火曜日のみとなっており、当事業所からもボランティアセンターに積極的にボランティア募集の広告等を作成し定期的にボランティアの依頼をし、各曜日に来て頂けるよう努めていきたい。新年度も、管轄の地域包括支援センターと社会福祉協議会や町内会そして地域の皆さまとのネットワークづくりを確立し、地域密着型事業所として地域福祉を重視し、より地域に開かれた事業所づくりに努めていきたい。

指定地域密着型通所介護事業所は、概ね年2回の開催が基準であり、地域 密着型サービス事業所の必須項目である運営推進会議を開催した。

運営推進員には現在、利用者のご家族・町内会役員・管轄の包括支援センター職員の3名の委員で構成している。新年度は、現委員の協力を得ながら運営推進員の増員を図っていきたい。

また武佐いこいの経営状態改善のため、プロジェクト会議によって作成さ

れた経営課題の分析報告書を基に、改善策実施を検討し続けていきたい。

(2) 重 点 項 目

- ① 利用者個々のニーズに沿った通所介護計画の実施
- ② 利用者主体を念頭に小規模事業所ならではの少人数という特色を活かし、個々の利用者に寄り添う生活機能の維持向上に重点をおいたサービスの提供
- ③ 新人教育や専門職としての資質向上を目的とした職場内外の研修会への参加により個々のスキルアップとチームケアの向上
- ④ 地域のコミュニティーとの繋がりを目的とした地域公益事業の充実化
- ⑤ 武佐いこいの経営状態の安定を目的とした改善策の検討

(3)業務計画

1)利用者個々のニーズに対	その人らしい、
応した(介護予防)通所	る様アセスメン
介護計画の作成	画の作成に努め
2) 利用者主体を念頭に小規	

その人らしい、その人が望んでいる生活に少しでも近づける様アセスメントに重点を置いた (介護予防) 通所介護計画の作成に努める。

2) 利用者主体を念頭に小規 模事業所ならではの特色 を活かし個々の利用者に 寄り添う生活機能の維持 向上に重点をおいたサー ビスの提供

少人数という特色を活かし、個々の利用者に寄り添う生活機能の維持向上に重点をおいたサービスの提供により日常生活内での役割・自信・意欲・楽しみの回復を図り、心身ともに健康に在宅生活を継続できる様努める。

3) 新人教育や専門職として の資質向上を目的とした 職場内外の研修会への参 加により個々のスキルア ップとチームケアの向上 利用者及び家族とのよりよい関係づくりと安心安全で良質なサービス提供へ繋げる為に、接遇、知識、介護技術等の職員研修の定期実施や外部研修への積極的に参加し専門職としての資質向上に努めると共によりよいチームケアの向上に努める。

4) 地域のコミュニティーと の繋がりを目的とした地 域公益事業の充実化 地域公益事業として地域の方を対象とした催しやデイサービスフロアの地域一般開放に加えて地域交流カフェ「いこい会館」等を通じて、関係機関の協力を得ながら地域福祉の推進に努める。また、当事業所の地域公益事業をはじ

	め、デイサービス武佐いこいを地域のコミュニティー化を
	目指し、もっと地域の皆さまに知って頂けるよう宣伝活動
	に努める。
5) 武佐いこいの経営状態の	長生園グループとして武佐いこいの経営状態が、安定する
,, .,	よう長生園グループプロジェクト会議による経営課題の
安定を目的とした改善策	分析報告書の改善策の実施を検討し、グループ全体で協力
の検討	し各事業所の経営状態の安定を図れるよう努める。

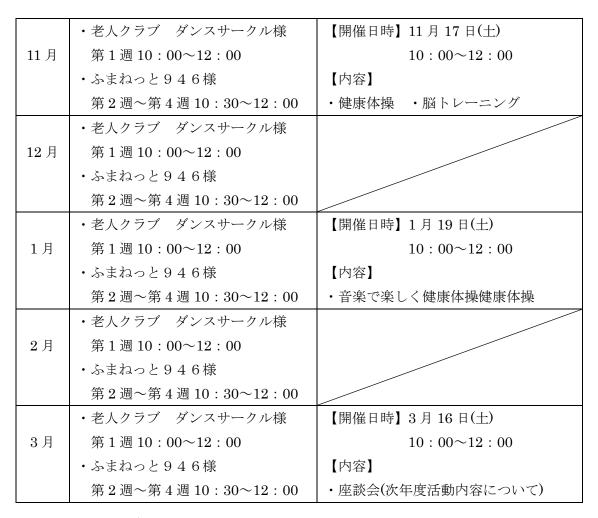
(4) 行 事 計 画

月	行 事 内 容
4月	舞踊交流会 職員会議・職員研修
5月	節句会・お花見ドライブ 職員会議 いこい会館(地域公益事業)
6月	花壇づくり 職員会議・職員研修
7月	夏のバーベキュー 職員会議 いこい会館(地域公益事業)
8月	納涼流しそうめん・避難訓練 職員会議・職員研修
9月	敬老いこい炉端 シルバー作品展出品 第1回運営推進会議 いこい会館(地域公益事業)
10月	紅葉ドライブ いこい開所記念祝い 職員会議・職員研修 白樺幼稚園交流会 秋マルシェ&いこい祭り(地域貢献活動)
1 1月	舞踊交流会 職員会議 いこい会館(地域公益事業)
1 2月	クリスマス会・忘年会 職員会議・職員研修
1月	新春お楽しみ会 職員会議 いこい会館(地域公益事業)
2月	節分 職員会議・職員研修

	節句会:ひな祭り	職員会議
3月		第2回運営推進会議
		いこい会館(地域公益事業)

(5) 地域公益事業計画

ラ	· イサービスフロア地域一般開放	地域交流カフェ「いこい会館」
(開放	日:第1~第4土曜日但し、左記を除く)	(奇数月の第3土曜日開催)
	・老人クラブ ダンスサークル様	
4月	第 1 週 10:00~12:00	
	・ふまねっと946様	
	第 2 週~第 4 週 10:30~12:00	
	・老人クラブ ダンスサークル様	【開催日時】5月19日(土)
5 月	第1週10:00~12:00	$10:00{\sim}12:00$
	・ふまねっと946様	【内容】
	第 2 週~第 4 週 10:30~12:00	・体力測定
	・老人クラブ ダンスサークル様	
6月	第1週10:00~12:00	
	・ふまねっと946様	
	第 2 週~第 4 週 10:30~12:00	
	・老人クラブ ダンスサークル様	【開催日時】7月21日(土)
7月	第1週10:00~12:00	$10:00\sim 12:00$
	・ふまねっと946様	【内容】
	第2週~第4週10:30~12:00	・音楽で楽しく健康体操
	・老人クラブ ダンスサークル様	
8月	第 1 週 10:00~12:00	
	・ふまねっと946様	
	第2週~第4週10:30~12:00	
	・老人クラブ ダンスサークル様	【開催日時】9月15日(土)
9月	第 1 週 10:00~12:00	$10:00{\sim}12:00$
	・ふまねっと946様	【内容】
	第 2 週~第 4 週 10:30~12:00	・アクティビティーレクリエーション
	・老人クラブ ダンスサークル様	
10月	第 1 週 10:00~12:00	
	・ふまねっと946様	
	第2週~第4週10:30~12:00	



(6) 外部研修計画

日 程	主 催	研 修 名	
6月	釧根地区老人福祉施設	・釧根老施協総合研修 I	
	協議会		
8月	北海道デイサービスセ	・デイサービスセンター職員スキルアップセ	
	ンター協議会	ミナー	
9月	釧根地区老人福祉施設	• 道東三地区老施協施設長研修	
	協議会	• 釧根老施協個別研修	
10 月	釧根地区老人福祉施設	· 釧根老施協総合研修 II	
	協議会	• 釧根老施協施設長研修	

(7) 職場内研修計画

開催月	研 修 内 容
4月	接遇マナー研修
6月	介護技術研修

8月	防災、災害対策研修
10 月	防犯対策研修
12 月	虐待防止研修
2月	事故防止研修

(8) 運営推進会議

開催月	会 議 議 案
9月	30 年度上半期利用状況及び運営状況、30 年度事業報告
3 月	30 年度下半期利用状況及び運営状況、31 年度事業計画

9. ひかり自立支援センター

・ケアホームひかり事業計画

(1) 運 営 方 針

ひかり自立支援センター・ケアホームひかりは、法人の経営理念と方針に基づき、利用者の人権を守り安心・安全・快適な施設づくり、また利用者及び保護者、並びに地域の方々から信頼が得られるよう取り組みを進めている。

昨年度においても利用者が安心して利用できる質の高いサービスの提供、職員が仕事の喜びや生きがい、働きがいを感じられる職場づくりを目指しながら風通しの良い施設づくりに取り組んできた。また今年度は職員体制機構図の見直しを図り、業務が円滑に遂行できるよう改善し、職員の資質向上のための研修体制の充実を図っていく。

職員体制機構の変更に伴い、日中支援の生活介護「あい工房」では、利用者の障がいに合わせて入浴、排せつ、食事等の支援、創作活動、かいわれ栽培作業における生産活動の提供をはじめ、身体機能の維持向上を目指して、公共施設を利用してのプール支援、散歩を含めた軽運動、生産物の販売等を通しての社会への参加を支援していく。

また日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」では、施設外就労の「長生園」「釧望やすらぎの郷」清掃作業の継続を図り、椎茸、野菜の生産をはじめ、どら焼き、クッキーの販売、また地域貢献事業として釧路市から委託を受け配食サービスを請負ながら美味しい食事の提供と「安否確認」を実践していく。

地域支援の共同生活援助「ケアホームひかり」では、夜間、休日における生活の場として利用者の健康管理をはじめ、入浴、排せつ、食事支援等の充実を図り、買い物、外食などの外出支援を実施し、また季節ごとの行事や祭りなどの地域資源を活用した余暇活動の実施、日帰り、一泊旅行等のレクリェーションを実施し情緒の安定を図っていく。

同じく地域支援の共同生活援助「ケアホームはばたき」では、町内会のお祭りや行事に参加し地域との交流を深めながら買い物、外食などの外出支援を実施し、利用者の希望による日帰り、宿泊旅行を実施し情緒の安定を図りながら楽しく地域生活を送ることができるよう支援していく。

以上の取り組みを通して平成30年度においてもひかり自立支援センター・ケアホームひかりにかかわる利用者、家族、職員が豊かな生活を実感し楽しい人生が送れるよう取り組んでいく。

(2) 重 点 項 目

- ① 日中支援の生活介護「あい工房」利用者の生産活動におけるかいわれ作業等、プール、散歩等の軽運動での身体機能の維持、外出等の余暇活動等を含め総合的な支援の充実を図る。
- ② 日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」利用者の施設外就労の継続と 野菜、椎茸栽培、菓子製造等を通して総合的な支援の充実を図る。

- ③ 地域支援の共同生活援助「ケアホームひかり」の利用者が地域資源を活用した余暇活動を実施し健康管理及び情緒の安定を図り、総合的な支援の充実を図る。
- ④ 地域支援の共同生活援助「ケアホームはばたき」の利用者が地域との交流 を図りながら外出、旅行等の余暇活動を通して楽しく生活できるよう総合 的な支援の充実を図る。
- ⑤ サービスの質の向上をめざし、職員の研修体制の充実を図る。
- ⑥ 事務所、工房等建物拡張の調査検討
- ⑦ 建物の安全、衛生、美観の向上

(3)業務計画

1) 日中支援の生活介護「あい工 房」利用者の生産活動、身体機 能の維持、余暇活動等の充実を 図る。 利用者の障がいに合わせて入浴、排せつ、食事等の支援、創作活動、かいわれ栽培作業における生産活動の機会の提供をはじめ、身体機能の維持向上を目指して、公共施設を利用してのプール支援、散歩を含めた軽運動、生産物の販売等を通しての社会への参加を支援していく。

2) 日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」利用者の施設外 就労と野菜、椎茸栽培、菓子製 造等及び配食サービスの充実 を図る。 日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」では、施設外就 労の「長生園」「釧望やすらぎの郷」清掃作業の継続を図り、 椎茸、野菜の生産をはじめ、どら焼き、クッキーの販売、ま た地域貢献事業として釧路市から委託を受け配食サービス を請負ながら美味しい食事の提供と「安否確認」を実践して いく。

3) 地域支援の共同生活援助「ケ アホームひかり」利用者の余暇 活動及び健康管理、情緒の安定 を図る。 地域支援の共同生活援助「ケアホームひかり」では、夜間、休日における生活の場として利用者の健康管理をはじめ、入浴、排せつ、食事支援等の充実を図り、買い物、外食などの外出支援を実施し、また、季節ごとの行事や祭りなどの地域資源を活用した余暇活動の実施、日帰り、一泊旅行等のレクレーションを実施し情緒の安定を図っていく。

4) 地域支援の共同生活援助「ケアホームはばたき」の利用者が地域との交流を図りながら外出、旅行等の余暇活動を通して楽しく生活できるよう総合的な支援の充実を図る。

地域支援の共同生活援助「ケアホームはばたき」では、町内 会のお祭りや行事に参加し地域との交流を深めながら買い 物、外食などの外出支援を実施し、利用者の希望による日帰 り、宿泊旅行を実施し情緒の安定を図りながら楽しく地域生 活を送ることができるよう支援していく。

5) 職員の資質向上のための研修 体制の充実を図る。	職員の資質向上のため、当協会の幹部研修、新任研修への参加をはじめ、職員のスキルアップのため各種研修会への参加及び園内研修の充実を図る。
6) 事務所、工房等建物整備・拡 張の検討	あい工房訓練室、みのり工房利用者休憩室の拡張、事務所の 独立配置に関する調査、検討
7) 敷地内や建物の安全、衛生、 美観の向上。	室内外の清潔・衛生の維持、積雪・寒冷の安全対策、危険個所の改修、廃棄物処理などによる美観の向上

(4) 行 事 計 画

月	行事	月	行 事
4	利用者会保護者会	10	宿泊旅行(ひかり) 収穫祭 プール支援(あい工房) 利用者会 保護者会
5	山内恵介コンサート(はばたき) 前期健康診断(ひかり・はばたき) 町内会茅野公園まつり参加(はばたき)	11	インフルエンザ予防接種 後期健康診断 (ひかり・はばたき)
6	焼肉パーティー(みのり・あい工房) 釧根地区パークゴルフ大会 ふれあい広場ビールパーティ(はばたき) ふれあい広場参加(ひかり・あい工房) プール支援(あい工房) 利用者会 保護者会	12	クリスマスコンサート クリスマス会(ひかり・はばたき) もちつき会 忘年会(ひかり・はばたき・あい工房) 年末大掃除 利用者会 保護者会
7	山神篝火まつり見学 厳島神社まつり見学 霧フェスティバル見学 益浦夏祭り出店(みのり・あい工房) プール支援(あい工房) 焼肉パーティー(ひかり・はばたき)	1	新年会(ひかり・はばたき) 初詣(ひかり・あい工房・はばたき) 外出、カラオケ(あい工房) クッキング(あい工房)
8	くしろ港まつり見学 釧根地区ボウリング大会 日帰り旅行(ひかり) 墓参り(はばたき) 第4回花火大会(ひかり・はばたき) 宿泊旅行(はばたき) プール支援(あい工房) 利用者会 保護者会	2	節分 くしろ冬まつり見学 障がい者作品展出品 町内会いきいきサロン参加(はばたき) 利用者会 保護者会

開所記念日 第10回「ひかりの里まつり」 日帰り・宿泊旅行(はばたき) 釧根地区ミニバレー・シーツバレー大会 長生園祭出店 サポートネット販売 鶴が丘学園祭見学 プール支援(あい工房)

ひな祭り(ひかり・はばたき) 3 慰労会(ひかり・あい工房・はばたき) 昼食バイキング サポートネット販売

[月間行事] 利用者懇談会・避難訓練・安全管理点検・嘱託医来所(あい工房)・理髪(あい工房) 誕生会(はばたき) 身体測定(ひかり・はばたき)外出(ひかり・はばたき)レクレーション(みのり工房)

〔その他〕「ひかりの里だより」発行(年6回保護者会開催日に発行)

10. 鶴が丘学園事業計画

(1) 運 営 方 針

利用者の人間としての尊厳を尊重し、一人ひとりの人権を擁護するとともに、 日常生活が健康で豊かなものとなるように、良質かつ適切な支援を提供してい く。

障がいの重い利用者や高齢の利用者が多数となり、身体機能の低下に伴う誤嚥、転倒、精神不安などのリスクが高くなっていることから、日常生活動作の介助、健康管理、口腔ケア等医療に係る支援、安全への配慮などの支援がますます必要となってきているため、利用者個々の心身の状況把握と特性について、利用者、家族との面談を通して理解を深め、施設としての介護や生活支援機能を充実させていく。さらに、強度行動障がいの利用者支援では、医療(嘱託医)との連携強化をはかっていく。

また、利用者個々のニーズに対応した日中活動(生活介護)サービスを提供するため、利用者の生きがいづくりを重視した利用者の負担の少ないメニュー設定や、楽しみながら行える運動機能の維持などの活動を実践していく。

サービスの質の向上や提供サービスの点検として、職員の自己評価や園評価を 継続して実施し、リスク事象の周知と対応の確認やリスクマネジメント等委員 会を定期的に開催し、施設生活の安全・安心が定着できるように全職員による事故対策や感染症対策、虐待防止及び苦情解決等の危機管理意識の向上と、迅速な対応の徹底をはかっていく。施設の災害対策では、日常の防災訓練を継続するとともに、自然災害に対する対応についてマニュアルを見直し緊急時に備えていく。

職員の人材確保と育成は急務であり、法人事務局と連携し職員研修計画を策定し、支援員、看護師、栄養士等が連携し、多様な障がいに対応できる専門的な知識や支援技術の習得等、職員のスキルアップをはかる取組を積極的に展開していく。

今後は、地域の福祉拠点として地域のニーズに対応した短期入所事業の推進と、 福祉避難場所としての施設開放等、地域コミュニティ、関係機関等との協働や交 流を進め、地域貢献等についても積極的に取組んで行きたい。

(2) 重 点 項 目

- ① 利用者への人権尊重と安全・安心を定着させるため、全職員のリスク・ 危機管理意識の強化をはかる。
- ② 利用者個々の状況に応じた個別支援計画の充実と、張りのある生活を目指した支援や外出、余暇活動を実施する。
- ③ 施設生活の質向上をめざし環境美化や整備を行い、文化的な潤いのある豊かな生活の場づくりを進めていくとともに、サービスの質評価(園評価・自己評価)を継続的に実施する。
- ④ 日中支援(生活介護)の充実をはかるため、余暇・創作活動内容や生産 性の向上に努めていく。
- ⑤ 利用者の障がいの重度化、高齢化等に対応するため、個別支援内容や 介護技術等の充実に取組み、医療機関や関係機関との連携を強化してい く。

- ⑥ 職員の専門的な支援技術向上と人材定着のため、職員研修計画を策定し 養成研修や園内外研修へ積極的に参加する。
- ⑦ 短期入所事業や地域ニーズ等に応えるとともに、地域貢献活動の促進を 図っていく。

(3)業務計画

- 1) 利用者への人権尊重と安全・安心を定着させるため、全職員の危機管理意識の強化をはかる。
- ・リスクマネージメント(事故対策)をはじめ、保健衛生及び感染症対策や虐待防止及び苦情解決等に即座に対応するため、職員へ危機管理意識の徹底を指導していく。
- ・施設の安全では、園内外の安全・安心(防犯)カメラ の活用と、警備員による 24 時間体制の見守りと管理 体制を維持強化していく。
- ・夜勤室増設を検討する。
- 2) 利用者個々の状況に応じた個 別支援計画充実と、張りのあ る生活を目指した支援や外 出、余暇活動を実施する。
- ・利用者の障がい特性に合わせた個別支援計画を実行し、利用者、家族との面接により個々にあったアセスメントによる支援計画とモニタリングを継続していく。
- ・利用者、家族の相談に定期的に対応していく。
- ・個別支援の充実として、必要に応じてマンツーマンに よる個別時間の確保により、効果的な支援を進めてい く。
- ・利用者が楽しむことができる買い物等外出の機会の 拡大と、余暇を選択し、自己決定できる場面を多く取 り入れ、生活や環境に対して能動的に行動できるよう なアプローチを展開していく。
- 3) 生活の質向上をめざし環境美化や衛生面に配慮した整備を行い、文化的な潤いのある豊かな生活の場づくりを進めていくとともに、サービスの質評価(園評価・自己評価)を実施する。
- ・園内、居室等、日中支援棟の環境美化と衛生面に配慮 していく。また、旧園舎側の建物整備(解体等)を行 う。
- ・文化的な潤いのある取組として、ピアノコンサートや ティーパーティーを開催するとともに、週末の喫茶コ ーナーの新設などを検討していく。
- ・施設の福祉サービスの質評価として、職員の自己評価 をはじめ園評価を継続的に実施し、改善を要する事項 については速やかに取組んでいく。
- 4) 日中支援(生活介護)の充実 をはかるため、余暇・創作活 動内容や生産性の向上に努め ていく。
- ・生産活動に従事する利用者に対しての作業種の充実 とともに、高齢者や作業になじめない利用者の日中活 動内容の検討を推進する。
- ・作業等の設備の充実や利用者個々の障がいの状況に 合った作業環境を考案していく。

5) 利用者の障がいの重度化、 高齢化等に対応するため、 個別支援内容や介護技術等 の充実に取組み、医療機関 や関係機関との連携を強化 していく。	・利用者の年齢構成では、50歳以上が47名(60歳以上25名)と高齢化が進んできているため、高齢者介護についても施設内研修等で積極的に学んでいく。 ・栄養士や看護師による専門的な視点による健康予防や協力医による口腔ケアにも力を入れ取組んで行く。
6) 職員の専門的な支援技術向上 と人材定着のため、職員研修 計画を策定し養成研修や園内 外研修へ積極的に参加する。	 ・職員の専門的な支援技術の習得や、人材確保は急務であるため、年間の職員研修計画の充実と各種資格取得などの養成研修への参加を進めていく。また、法人主導による幹部職員・職員・新任職員研修にも積極的に参加する。 ・特に、強度行動障がいの利用者に対する支援のニーズが高まり、マンツーマンによる支援体制の確立が求められているが、個々の障がいの状況に対応した支援を作り上げていく力量をチームワークとして作り上げていく。
7) 地域ニーズ等に応えていくとともに、地域貢献活動の促進に努めていく。	・地域の一員であることを意識し、ボランティアとの 交流や地域活動への参加機会を増やしていくととも に、園周辺地域の清掃などに取組んでいく。・地域の福祉避難場所など福祉拠点機能としての推進 と地域貢献活動について、施設機能を活用した地域 の活性化をはかることを検討する。
8) 利用者並びに家族懇談会を定期的に開催し、利用者・家族が安心して過ごせるように情報の共有化をはかっていく。	 ・利用者懇談会を月1回開催し、園生活の情報提供や行事等の振り返りなどをすることにより、利用者との情報共有をはかり、園生活を積極的に楽しむ意欲を育てる。 ・家族懇談会を隔月開催し、園生活の向上に向けた話合いや行事等利用者の日常の様子などを、園だよりだけではなく写真などに編集して理解していただき情報の共有をはかる。
9) 各種検査等の実施	・井戸水水質検査の実施~ 毎月 9 項目、4ヵ月毎:25 項目、年 1 回 50 項目 ・腸管系法定伝染病検査~毎月;栄養士・調理員・菓子 製造従事者(各種検査とノロウイルス感染検査実施)
10) 短期入所事業の実施	・利用者の居住する関係市町村、地域の障がい福祉事業 所、保健・医療サービス機関との密接な連携をはかり、 利用者のニーズに応じた短期入所事業を実施する。

(4) 行 事 計 画

月	行	事	月	行 事
4	・利用者懇談会・ピアノ演奏とティー/・誕生会	・家族懇談会パーティー	10	・道東ミニバレー大会 ・誕生会 ・利用者懇談会 ・家族懇談会 ・宿泊・日帰り旅行(利用者の希望先) ・ピアノ演奏とティーパーティー

5	・花見・春の大掃除・くしろチューリップ&花フェア出店・利用者懇談会・誕生会	11	・開園記念日(1日) ・おたのしみ食・利用者懇談会 ・誕生会・宿泊旅行(利用者の希望先)
6	・釧根地区パークゴルフ大会・利用者懇談会・ 足帰り旅行(利用者の希望先)・ ふれあい広場参加・ 誕生会・ おたのしみ食	12	・宿泊旅行(利用者の希望先)・クリスマス会・誕生会・利用者懇談会・家族懇談会・年末大掃除
7	・厳島神社祭出店・利用者懇談会・誕生会・第11回学園スポーツレクリエーション大会	1	新年会・誕生会・利用者懇談会
8	・釧根地区ボウリング大会 ・利用者懇談会 ・誕生会 ・くしろ港まつり出店 ・家族懇談会 ・日帰り旅行(利用者の希望先) ・ピアノ演奏とティーパーティー ・道東地区アジャタ大会	2	・利用者懇談会 ・日帰り旅行 ・家族懇談会 (利用者の希望先) ・くしろ冬まつり出店 ・誕生会 ・ピアノ演奏とティーパーティー
9	 ・利用者懇談会 ・第 47 回学園祭 ・秋の大掃除 ・宿泊旅行(利用者の希望先) ・誕生会 ・釧根地区ミニバレー・シーツバレー大会 ・長生園祭出店 ・定光寺まつり出店 	3	・日中支援利用者慰労会・サポートネット販売・利用者懇談会・誕生会
〔その他の行事等〕1. 避難訓練(毎月)2. 建物・設備安全管理点検(毎月)3. 学園だより発行(年6回)4. 理髪・美容 (毎月)5. 外出(適宜)			

11. すみれホーム事業計画

(1) 運 営 方 針

今年度も、利用者の高齢化に伴う体力や気力の状況に配慮しながら、個別的に 就労日数の調整や地域資源の活用により、安心、安全、快適な生活が送れるよう に丁寧かつ適切な支援に取組んでいく。健康面においては、加齢に伴う歩行力や 嚥下力など身体機能の低下がみられてきているため、医療機関との連携や地域 資源の活用等による健康維持を目的とした日常的な運動の取組みを一層推進し ていく。特に、転倒による受傷事故防止のため、散歩などを通じて歩行訓練を継 続して取組んでいきたい。

個別支援では、利用者と家族との面談を行い、個々のニーズに即した個別支援 計画の作成と実施を進めるとともに、新しい利用者支援システムのコンピュー ターソフトを導入し項目内容の充実とスピードアップ化をはかる。また、地域交流を大切にして、各種市民文化講座の活用などで余暇、趣味の幅を広げ、日々の 生活に張りが持てるような支援をしていく。

今後も、地域共同生活援助福祉サービスの質の向上をめざし、職員が利用者一人ひとりをより深く理解し適切な支援ができるように、外部研修会等へ積極的に参加するとともに、内部研修等の充実もはかりながら常に向上心を持って支援に取組んでいきたい。定着している町内会活動への参加や地域との交流をする中で、社会的なマナーの習得や感情表現の仕方などを学習し、多くの人との出会いを大切に生き生きとした毎日を過ごせるように支援していく。また、地域や関係機関との密接な連携により、地域貢献の促進を検討していく。

(2) 重 点 項 目

- ① 利用者一人ひとりのニーズに沿った丁寧かつ適切な支援の実施。
- ② 加齢に伴う健康の維持・促進をはかる。
- ③ 利用者と家族の要望に対応した個別支援計画の作成と実施。
- ④ 町内会活動や地域の文化教室などへ積極的に参加し、地域との交流を深める。
- ⑤ サービスの質の向上をめざし、積極的に職員研修の充実をはかる。

(3)業務計画

- 1)利用者一人ひとりのニーズに沿った丁寧かつ適切な対応により満足感を持ってもらえるよう支援する。・利用者、家族の相談に定期的に対応していく。・健康管理(定期通院・早期通院)
- 2) 健康の維持・促進をはか る。(散歩等や徒歩による 買物 など身近で取組み やすい運動)
- ・健康管理(定期通院・早期通院) 健康診断(身体測定・胸部レントゲン・内科検診) がん検診(大腸・胃・乳:40歳以上;子宮:20歳以上) 精神科内服者(血液・尿検査:2回/年) インフルエンザ予防接種等を実施する。
- ・地域の公園やコンビニ・スーパーマーケット等の利用に よる歩行訓練の実施

3) 利用者と家族のニーズに	・利用者、家族との面談を行い、ニーズに即した個別支援
対応した個別支援計画の	計画の作成と実施。個別支援計画作成では、新しい利用
作成と実施。	者支援システムのコンピューターソフトを導入し、項目
	内容の充実とスピードアップをはかる。
	・加入している町内会の各種行事等への活動に積極的に参
4) 町内会活動や地域の文化	加し、地域との交流を深めていく。地域のスポーツ施設
教室などへ積極的に参	の利用や介護予防教室、市民講座等への参加を継続して
加し、地域との交流を深	いく。
める。	・地域周辺の清掃や関係機関との連携により、地域貢献の
	促進を検討していく。
5) サービスの質の向上をめ	・職員の資質の向上をはかるため、各種研修会、講習会に
ざし、積極的に職員研修	積極的に参加し、研修後は園内研修等において伝達報告
の充実をはかる。	し、専門知識の共有化と支援の向上をはかる。

(4) 行 事 計 画

月	行 事	月	行 事
4	町内会清掃・古紙回収 利用者懇談会 ピアノ演奏とティーパーティー参加	10	利用者懇談会 ピアノ演奏とティーパーティー参 加
5	花見・ホーム懇談会 チューリップフェア見学	11	ホーム懇談会
6	町内会運動会参加 ふれあい広場参加 利用者懇談会	12	クリスマス会 大掃除 利用者懇談会
7	厳島神社例大祭見学 鶴が丘学園スポーツレクリエーション 参加	1	町内会新年会参加
8	港まつり見学 町内会盆踊り参加 ホーム懇談会 家族合同焼肉パーティー ピアノ演奏とティーパーティー参加	2	くしろ冬まつり見学 節分 ホーム懇談会 利用者懇談会
9	ひかりの里祭り参加 鶴が丘学園祭参加	3	ひな祭り会 慰労会

その他の行事

- 1. 誕生会(誕生月) 2. 防災・避難訓練 3. 体重測定
- 4. 利用者の希望による旅行の実施
- 5. レクリエーション (外出、行事、食事会、カラオケ、銭湯利用等)
- 6. インフルエンザ予防接種

12. 障害相談支援室 鶴が丘事業計画

(1) 運 営 方 針

平成 29 年度は 15 件 (障がい児 3 件、障がい者 12 件)の計画相談を実施し、主に就労支援や障がい児相談を中心としながら、幅広く相談支援福祉サービスを提供してきた。

平成 30 年度においても、障がい児・者の利用者がその有する能力及び心身の状況やその置かれている生活環境等を考慮し、利用者主体の自己選択、自己決定に配慮しながら適切な福祉サービスが、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう実施していきたい。さらに、利用者の保護者や家族等の意向を受け止めながら総合的な基本相談支援を進めて行きたい。

今後の課題として、地域の相談支援の拠点としての機能強化と人材育成をはかりながら、地域共生社会に対応できる総合的な相談事業の取組みができるように検討を進めていく。

(2) 内 容

計画相談支援については、支給決定または支給決定の変更前に、アセスメントに基づきサービス等利用計画書を作成し、支給決定または支給決定の変更後、利用状況についてサービス事業者等との連絡調整をはかり、エンパワメントの視点を大切に地域生活を前提とした就労や、住み慣れた地域で自立した生活を可能とするための相談支援体制を確立していけるように取組んでいきたい。

支給決定後は、厚生労働省令で定める期間ごとにサービス等の利用状況を検証し、計画の評価(モニタリング)と見直しを実施する。また、基本相談支援においても、利用者及びその保護者や家族などから社会生活を営む上での相談にも対応していく。

13. かしわ保育園事業計画

(1) 運 営 方 針

保育所保育指針が改訂され、平成30年4月1日より施行される。また、釧路市内の保育園・幼稚園で認定こども園に移行する園が増えているため、かしわ保育園としても認定こども園移行を視野に入れ、資質と専門性の向上に努め、質の高い保育と教育を提供できる保育園づくりを目指していきたい。

人権や主体性を尊重する保育を継続し、子どもの最善の利益を考慮しながら、 発達及び生活の連続性に配慮したきめ細やかな保育を進めていく。また、情緒の 安定した毎日を過ごすためのクラスづくりや、裸足保育、音楽リズム、戸外活動 など、体力と健康の増進に力を入れ、各種行事等の経験を通して人と関わる力を 培い生きる力を育む保育を大切にしていきたい。

年齢別保育を中心に異年齢保育も取り入れて保育を実施するとともに、乳児保育、障がい児保育では個別的な計画をたて、子どもが主体的に活動できるよう適切な対応を図りたい。また、延長保育など多様化する保育ニーズにも応えていく。

食育の充実では「食を営む力」をつけるため、季節に応じた野菜作りやクッキング、バイキング、栄養士による食育指導など、子どもたちが意欲をもって食生活に取組めるよう工夫して行い、体験を通して食に関わる循環・環境、感謝の気持ちが育つよう保育環境に配慮していきたい。食物アレルギーや障がいのある子どもなど、医療と家庭と連携をとりながら個別に応じた対応食と献立の充実をはかりたい。

子育て家庭への支援では、育児不安を抱える保護者に寄り添い、児童虐待、 発達障害など子どもをめぐる問題の対応等、保育園だけでは解決できない課 題も多く、地域の関係機関と連携した子育て支援を取組んでいきたい。さら に「子どもの最善の利益」の実現に向け、質の高い保育を展開するための保 育課程や指導計画内容の見直し、さらに自己評価、園評価を継続していきた い。また、地域や小学校接続の連携にも力を入れて保育内容の充実をはかっ ていく。 今後も、釧路市中部子育て支援拠点センターサテライト「よちよ ちひろば新橋」の充実のため、愛光保育園との協力体制をとるとともに、定 期的に合同会議や研修を開催し、情報の共有と連携を図りながら将来に備え ていきたい。

(2) 重 点 項 目

- ① 情緒の安定と体力・健康の増進をはかりながら主体性を尊重する保育。
- ② 食育及びアレルギー対応等の安全と充実
- ③ 子育て・家庭支援の連携強化
- ④ 認定こども園移行に向けた具体的な計画策定。

(3)業務計画

- 康の増進をはかりながら 主体性を尊重する保育。
- 1)情緒の安定と体力・健 ・園児の体力と健康の増進をはかるため裸足保育の実施や 乳児の日光浴、戸外活動を多く取り入れる。
 - ・音楽リズムを積極的に取り入れ、体幹等の身体的な発達 を促す。
 - ・各行事等の体験を通して主体性を尊重しながら意欲的な 取り組みができるようにしていく。
 - ・3 才児より指先を使った遊びを取り入れ、4,5 才児で の文字・数字の習得を目指す。
 - ・4、5才児でのフッ化物洗口を実施し、口腔内の健康に

全園児、健康維持に努めるため、嘱託医による内科検 診を年2回、歯科検診を年1回行う。

・地域のニーズを充足するため、乳児保育、障がい児保 育、延長保育、園開放を実施し、野のはな園、地域高齢 者施設、小学校等の他の施設や地域住民との交流を促進

	していく。
	C C v · N o
2) 食育及びアレルギー対応等の安全と充実	 ・食の充実をはかるため、栄養士による食育指導を月1回実施する。 ・給食献立表と給食だよりを月1回発行し、保健・健康についての情報提供を行う。 ・発達に応じた離乳食の献立作成し提供する。 ・食物アレルギーのある園児には医療と家庭と連携を取りながら個別の献立表を作成し提供する。 ・給食の資質向上をはかるため、年1回給食アンケートを実施する。 ・感染予防、衛生面の徹底のため給食従事者と乳児担当保育士の検便を月1回行う。
3)子育で・家庭支援の連係強化	・全園児、個別の連絡帳で家庭との連携をはかり、各クラス、園だよりを月1回発行し活動方針等の理解と協力を深めていく。また、保育参加・懇談会を年2回実施し、子どもの成長、発達を共有し、保護者間の情報交換など家庭支援につなげていく。 ・保育の資質向上をはかるため、年1回保育アンケートを実施する。 ・感染症予防の啓発や、発生状況の情報提供を行う。 ・環境整備とマニュアルの確認、見直しを行い、情報提供をしていく。
4) 認定こども園移行に向けた具体的な計画策定	・認定こども園移行に向けて具体的な準備, 計画を法人と愛 光保育園と連携しながら進めていく。

・新任保育士研修 ・乳児保育担当保育士研修 ・障がい児保育担当保育士研修 ・保育士専門研修 ・釧路市私立保育園連合会主催研修 ・釧路市保育協議会主催研修 ・幼児教育に関する研修 ・園内研修(外部講師、外部研修報告、全体保育研修) ・愛光保育園との合同会議、研修等 ・法人職員研修(新任職員・幹部職員・法人職員・専門)

(4) 行事計画

月	行 事	月	行 事
4	入園・進級式、裸足保育開始、誕生 会、身体測定、避難訓練、食育指導	1 0	秋の健康診断、秋の交通安全指導教室、 誕生会、消防署合同避難訓練、 身体測定、食育指導、裸足保育終了
5	保育参加・懇談会、野菜種まき・いも 植え、足型取り・掲示、春の健康診 断、誕生会、身体測定、避難訓練、食 育指導	1 1	第 40 回お遊戯会、長生園との交流 会、誕生会、身体測定、避難訓練、 食育指導
6	春の交通安全指導教室、歯科検診、 誕生会、身体測定、避難訓練、食育指 導	1 2	クリスマス会、誕生会、身体測定、 避難訓練、食育指導
7	親子バス遠足、親子お楽しみ会、誕 生会、長生園レクリエーション交流、 身体測定、避難訓練、食育指導	1	新年お楽しみ会・おもちつき、誕生 会、 足型取り・掲示、スケート体験学習、 身体測定、避難訓練、食育指導
8	歩き遠足、港まつりヨサコイ踊り参加、 盆踊り行燈製作、誕生会、身体測定、 避難訓練、食育指導	2	節分、保育参加・懇談会、お店屋さんごっこ、興津小1日入学(年長児)、 身体測定、誕生会、避難訓練、食育 指導
9	第40回運動会、収穫祭、誕生会、 観劇、身体測定、避難訓練、食育指導	3	ひな祭り、卒園式、お別れ会、誕生会、身体測定、避難訓練、食育指導、修了式

14. 愛光保育園事業計画

(1) 運 営 方 針

平成30年4月1日より保育所保育指針が改訂となり、また釧路市内の保育園・幼稚園で「認定こども園」に移行する園が増えてきている(平成29年度現在保育園22園、幼稚園26園中計9園)。愛光保育園としても今後認定こども園への移行も視野に入れ、専門性の向上と質の高い保育と教育を提供できる保育園づくりを目指していきたい。

子どもたちの人権や人格形成等を守るために子ども主体の保育・環境を整備し、子ども達自らが大切にされていることを実感できる保育を継続していく。保育内容では、音楽リズムや戸外遊びを多く取り入れバランスのとれた体力をつけること、日々の保育や行事を通して様々な経験や体験を重ねることにより人と関わる力・生きる力を身に付けていくことなどを大切にしていく。

地域的に長時間保育の子、障がい児保育の実施園ではないが個別の手立てが必要な子、育児環境が劣悪な子、医療と連携が必要な子など個別の保育ニーズに対応するため、保護者や釧路市の関連機関との連携を深めながら、職員研修を重ねて自己評価、園評価を継続して行うことにより質の高い保育を目指していきたい。

また、食育の目標「食を営む力」は生涯にわたって育成されるものであるが、 その基礎を培うため保育計画の中に位置づけ、和食を中心とした季節感のある 給食、年齢ごとのクッキング教室、野菜の栽培、アレルギー代替食、栄養士の 食育指導など保育の一環として今後も積極的に取組んでいく。

釧路市中部子育で支援拠点センターサテライトとして「よちよちひろば新橋」の利用が昨年度 12,500 人を超えており、今後も同様の利用者数が見込まれるため、釧路市と連携をとりながら毎月行っている子育で講座、育児相談などもさらに充実したものにしていきたい。

今後においても、地域に根差した保育園、開かれた保育園の定着を図るため、

地域の読み聞かせのボランティア、高校生のボランティア、小中学校の総合学習の児童、保育実習生、看護実習生等積極的に受け入れ、協力体制の充実を図るとともに、地域の行事にも参加しさらに関係を深めながら、地域貢献の推進も進めていきたい。また、かしわ保育園と定期的に園児の交流や合同会議、研修等を行い、将来に備えて情報の共有と連携を図っていきたい。

(2) 重点項目

- ① 子育てや家庭支援の連携を図り、子どもたちの情緒の安定と体力・健康の増進を深める。
- ② 食育を通して望ましい食習慣や、アレルギー対応食の安全と充実をはかる。
- ③ 釧路市とも連携を図り、中部子育て支援拠点センターサテライトの事業内容の充実と保育園との連携をはかる。
- ④ 認定こども園移行にむけての具体的な計画の策定。

(3) 業務計画

1) 子育てや家庭支援の連携を図り、子どもたちの情緒の安定と体力・ 健康の促進

- ・園児の体力と健康を図るため、天候をみて乳児の日光浴 や園児の戸外保育を取り入れていく。
- ・音楽リズムで体力や姿勢・リズム感の向上を図るため、 定期的に講師を招いての園児合同の園内研修と、週1回 の発表を行う。
- ・知育の発達を促すため4,5歳児はワークブックを使用、3歳児は指先を使った遊びを取り入れる。
- ・地域のニーズを充足するため、乳児保育,延長保育,小学校との交流,園開放(毎週水曜日)を実施し、また地域住民との交流促進事業にも積極的に参加して地域貢献に努める。
- ・保護者との連携をはかるため、全園児連絡帳の記入を 毎日実施、園やクラスの活動をより理解してもらうた め月1回クラス、園だよりを発行する。
- ・日頃の園での取り組みや、子ども達の成長,発達を保護者と共有できるよう、参観,懇談会(個別懇談会)を年2回実施する。

		・保育の質の向上をはかるため、年1回保育アンケートを
		実施する。
		・園児の健康維持に努めるため、年2回嘱託医による内科
		検診と、年1回歯科医による歯科検診を行う。
		・感染症予防の啓発を行い、発生した場合感染を最小限に
		抑えられるよう、都度マニュアルの見直しや確認、保護
		者への報告を行っていく。
		・食の充実をはかるため、月1回栄養士による食育指導を
2)	食育を通して望ましい	実施する。
	食習慣やアレルギー対	・家庭との連携や園での取り組みを共有できるよう、給食
	応食の安全と充実	献立表と給食だよりを月1回発行する。
		また、参観懇談会時に保護者に対しての給食試食会を年
		2回実施、栄養士による栄養や健康に関する食育を行
		う。
		・アレルギー児に対し個別の献立表を作成、代替食を提供
		し安全安心をはかる。
		・給食の質の向上を図る為、年1回給食アンケートを実施
		する。
		・感染症予防、衛生面の徹底の為、給食従事者と乳児担当
		保育士の検便検査を月1回行う。
3)	市との連携を図り、中	・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
	部子育て支援拠点セ	・子育て等に関する相談、援助の実施
	ンターサテライトの	・地域の子育て関連情報の提供
	事業計画の充実と保	・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施の為、子育
	育園との連携	て講座を月1回行う。
		・地域支援活動の実施
4)	認定こども園移行に向	・認定こども園移行に向けての具体的な準備、計画を、法
	けての策定	人事務局とかしわ保育園とで連携しながら進めていく。

5)	職員研修に関すること	・道社協 乳児研修
		・道社協 障がい児研修
		・道社協 新任保育士研修
		・道社協 保育士研修
		· 釧路市私立保育園連合会主催 研修
		・釧路保育協議会主催 研修
		· 北海道社会福祉協議会主催 研修
		・幼児教育関係の研修
		・法人職員研修(新任職員・幹部職員・法人職員・専門)
		・園内研修(音楽リズム研修・研修報告・保育指針研修)
		・かしわ保育園との合同会議、研修等

(4) 行事計画

月	行 事	月	行 事
4	入園・進級式、身体測定、誕生会、 避難訓練	1 0	内科検診、交通安全指導教室、消防 合同避難訓練、観劇、身体測定、誕 生会
5	保育参観・懇談、野菜種まき、いも 植え 内科検診、身体測定、誕生会、避難 訓練	1 1	お遊戯会、愛国地区文化祭参加、身体測定、避難訓練、誕生会
6	交通安全指導教室、歯科検診、親子 バス遠足、身体測定、誕生会、避難 訓練	1 2	おもちつき、クリスマス会、身体測 定 避難訓練、誕生会
7	身体測定、誕生会、避難訓練	1	新年お楽しみ会、お店屋さんごっ こ、身体測定、避難訓練、誕生会
8	身体測定、誕生会、避難訓練	2	節分、保育参観·懇談、体験入学(年 長児)、身体測定、避難訓練、誕生会
9	運動会、収穫祭、歩き遠足、敬老会 参加、身体測定、誕生会、避難訓練	3	ひな祭り、お別れ会、卒園式、修了 式、身体測定、避難訓練、誕生会